

政を問う



徳峰 一成 議員

敬老祝い金の全員支給を

市長／私は節目支給でいきたい

徳峰一成議員 市長は高齢者の多くは、節目支給ではなく、全員支給を望んでいると認識されるか。
池田市長 私は節目支給を望んでいる人も多いと考える。

問 市長答弁には、具体的根拠がなく、説得力がない。市長は10、423人の全員支給を求める署名に寄せられた民意を



市長に署名を提出

どう受け止めるか。

市長 署名された方の中には、その後節目支給でもどちらでもよいと言われる方もいる。

問 それならば、高齢者を対象にどちらが多いか、アンケートをとったらどうか。

市長 節目支給を実施して、今年で4年目である。アンケートはもうしばらくしてからでもよいのではないか。

問 市長は今から2年半前の私の同じ質問に2、3年たったらアンケートをとりたいと答弁された。それから今月

でちょうど2年半がたった。市長答弁は矛盾しているのではないか。これでは引き続き署名を広げ、市民に宣伝するしかない。

市長 アンケートを行うと断定的に言ったのではない。

飼料や原油などの高騰から農家をはじめ市民生活を守れ

問 わずかこの2年間に1.3倍から1.7倍の高騰で、農家の経営環境が非常に厳しくなっている。市の全体的な支援策を聞きたい。

市長 影響は農家だけではない。国の施策等に頼っていききたい。

問 まったく理解できない。農家が困っている時手助けするのが市の仕事ではないか。

市長 原油の値上げは市民全体が影響している。国にお願いするしかない。

問 現在、市が保有する積立金は、以下の資料の



心配される肥料・飼料の値上がり

ように当初市が予測した以上に増えている。つまり、支援のための財源は十分あるではないか。
原油や飼料の高騰による農家だけでなく、今、市民生活は大変厳しい。市民が困っている時こそ、市は独自の積極的支援策を行うべきではないか。

市長 これまでも支援策は行っている。今後も必要な施策は行っていく。

資料 曾於市が保有する基金

	17年度末	18年度末	19年度末
財政調整基金	13億円	17億円	21億円
その他の基金	25億円	23億円	24億円
全 体	39億円	41億円	46億円

※1億円未満は切り捨て。このため全体基金額は符合しません。

霧島市一般廃棄物管理型最終処分場建設候補地は

市長／なぜこの地か不思議に思う



八木 秋博 議員

一般質問
7議員登壇

市

八木秋博議員 産業廃棄物及び一般廃棄物処分場の市長所見は。
池田市長 産業廃棄物最終処分場は、事業活動から生ずる廃棄物処分施設で県が指導を行っている。

一般廃棄物最終処分場は、家庭から排出されたものと事務所、商店等の紙ごみ、飲食店からの生ごみ等焼却破砕処理し、埋立処分する施設で、曾於市では、現在曾於市クリーンセンターで焼却破砕等の中間処理した後、大隅一般廃棄物最終処分場へ搬入している。

問 霧島市の処分場計画の認識はいかがか。これまでの経過と対応はどうか。
市長 一般廃棄物最終処分場は、霧島市にとって必要な施設であり、多数の候補地からいろいろな経過を踏まえ、福山町宝瀬地区まきばドーム南側に隣接する市の山林に選定されたということである。曾於市としては、候補地は大隅町に近いことや菱田川の上流であることを考慮し、宝瀬地区の動向や曾於市民のご意見を踏まえ、状況を見極めたい。住民の理解が得られない場合は、建設を見直してほしいと思っている。



最終処分場建設候補地周辺図（霧島市福山町）

市長 本来自分の町から排出される一般廃棄物は、自分の町で処分することが大原則（廃棄物処理法第4条・6条の2）となっており、おおよそのリスクは必然的なことである。この度のこの選定地は道義的にも問題を感じることがある。
市長 なぜこの地を選んだのか不思議に思っている。流域住民は不安を持っている。また農業中心としてのイメージダウンも心配である。

問 この候補地近辺はもとより、笠木原台地等の重要な水源であり即刻アクションを起こすべきではないか。
市長 霧島市側からは処理水は放流しないなど安全な施設と聞いており、曾於市民に対しても十分な説明を求めている。反対申し入れなど判断は住民説明会のあとに考える。

観光行政は

問 4月に設立された曾於市観光協会会長としての所見、展望、行政の役割は。
市長 旧来の観光協会合併当初のまとめ役として就任している。鹿児島宮崎にまたがる環霧島会議等でも、観光は大きなテーマであり、私も我が市の豊かな自然や伝統行事等の観光資源を活用し、特産品のPRや開発

等に推進していく。
問 観光振興としての3物件の現況、見直し、検討、宣伝について。
市長 やまびこ館は、多目的ホールの入所者を決定し、観光情報発信の一施設として活かしていく。



芙蓉部隊基地跡（大隅町）

自治会の 未加入者問題は

市長／地域活動の停滞につながる



海野 隆平 議員

海野隆平議員 自治会の未加入者の実態は。

池田市長 平成20年5月現在18,521世帯で、その内3,465戸の18・7%が未加入世帯となっている。

問 未加入者の問題をどのようにとらえているか。

市長 自治会は任意団体であり、加入への強制力はないと考えているが、行政サービスとのつながりや、地域の活性化、安心安全なまちづくりには大事な団体である。

加入率の低下は、地域活動の停滞や人間関係の

希薄につながる。

問 自治会加入促進のための施策は。

市長 曾於市転入者には、市民課窓口で自治会長さんへの連絡先を案内し、自治会へ加入して頂くようお願いしている。

未加入世帯加入促進補



豊かなむらづくりの交流会（財部町中谷）

助金として、一戸数当たり加入時に2千円を自治会へ交付している。

問 未加入者の実態を知る上でもっと詳しい分析が必要ではないか。

市長 詳しい実態把握をしていないので、今後、未加入者も入れて早めに連絡協議会を設置したい。

問 市職員は率先して自治会に加入すべきではないのか。

市長 実態を調査して、すぐ加入するよう指導する。

問 大分県旧緒方町は、人口7千人で自治会への未加入者がゼロと聞くが、視察研修についてどう思うか。

市長 予算の問題もあるが検討したい。自治会長さんもこの問題に注目され期待されている。連絡協議会なり、プロジェクトなりを早期に立ち上げ実態把握に努め、未加入解決のために前向きに進めていきたい。

自主文化事業の 取り組みは

問 中身・内容等については、いつどのように決定されているのか。

植村教育長 自主文化事業の選定については、年代や多様なジャンルを考慮し、市民のニーズに応じた事業を企画している。

企画にあたっては、曾於市文化施設運営委員会を開催し、意見等を聞いて企画している。

問 予算と事業の取り組みについて

資料 自治会加入状況（平成20年5月現在）

	末吉	大隅	財部	計
世帯数	8,469	5,655	4,397	18,521
加入世帯数	6,396	4,864	3,796	15,056
未加入世帯数	2,073	791	601	3,465
未加入率	24.5%	14.0%	13.7%	18.7%



「友の会」会員カード

教育長 近隣市町村での開催状況等も考慮し、講演の内容が重ならないよう、また共催等による経費削減等も視野に入れて内容を検討している。

曾於市の芸術文化の振興については、自主文化事業での共演など地元芸術文化団体の育成に力をつけている。

問 年間事業計画を作る上で、市民の声を聞き、活かされるべきである

が、今までそのような調査はされてきたのか。

教育長 以前はアンケート調査を実施していたが、近年実施していない。今後は市民の声が広く反映されるようなシステムを構築したい。

問 都城市が行っている友の会制度を発足される考えはないか。

教育長 友の会制度については、今後調査研究し、検討する。

霧島市の一般廃棄物 処分場に反対を

市長／曾於市のイメージダウンを心配する



山下 議員

山下 議員

霧島市が菱田川源流地に計画している廃棄物処分場の概要は。

池田市長 4月11日に説明を受けた一般廃棄物管理型最終処分場の計画は、旧福山町牧之原宝瀬地区の公園隣接地に埋立

曾於市一般廃棄物管理最終処分場の現況

所在地	埋立地面積 (㎡)	埋立容量 (㎡)	H19 までの埋立量 (㎡)	今後の埋立可能容量 (㎡)	共用開始年
大隅	16,300	131,000	49,359	81,641	H 1.4
財部	1,939	29,214	16,201	13,013	H10.4
計	18,239	160,214	65,560	94,654	—

※財部処分場には、平成 18 年 10 月から搬入していない。
(市長答弁資料より作成)

量 1 期 3 万 ㎡ が 3 期分、45 年間で 9 万 ㎡、屋根で覆うクローズド式で焼却後の灰を固めた飛灰固化物を埋め立てる施設で、処理水は放流しない。最終的に 2 ヲ所の候補地に絞り、ここに決定したということだった。

問 この水源は笠木原用水をはじめ、流域には多くの水田があり、大隅の

中心を流れて志布志湾に注ぐ。現時点での曾於市への影響と建設までの法手続は。

市長 施設は構造的に屋根付きで、埋立部分は二重遮水シートと鉄筋コンクリートで覆い、安全性には優れたものとの説明であった。全て当地の水

は曾於市に流れてくるので、イメージダウン等を

心配している。法手続上、曾於市の同意があるかどうかは調査する。

問 霧島市へ反対の申し入れをすべきではないか。45 年間の長期にわたるので何らかの協定も必要ではないか。

市長 現在の候補地は、曾於市の上流域でもある。選定場所の再考や周辺地域住民の理解が得られない場合は、見直してほしいと思っている。

問 宮崎県で起きている同様施設の 2 件の事件をどう思うか。

市長 2 件とも廃棄物処理施設の調整地で、破損、異常があったにもかかわらず、報告を公表しなかったことは、大変遺憾だと思う。曾於市にも 2 つの施設があるので、十分な注意を払い、事故が発生しないよう適正な維持管理に努める。

問 曾於市の公共及び民間の廃棄物処理場の現況は。

市長 公共として一般廃棄物最終処分場は、大隅

と財部にあり、曾於市クリンセンター（末吉）での焼却灰を埋め立てている。水質検査を放流水、地下水共に毎月実施しているが、問題は生じていない。

民間には産業廃棄物最終処分場が 1 ヲ所あるが県の監督下であり、問題は聞いていない。

農業情勢への対応は

問 現在の子牛価格の急落、一番茶の価格の暴落、燃料費高騰等農業情勢への対応は。

市長 子牛価格の下落は、飼料価格高騰、肥育農家の収益悪化、枝肉価

格の低下が主要因である。JA と一体となり肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定対策事業の改善充実を国に要望している。

一番茶の価格低迷は、茶商の繰越在庫量の増、静岡産茶の回りが昨年より早かった、消費者のニーズの多様化等が考えられる。生産履歴記帳の徹底で他産地との差別化と地元茶の消費を P R したい。

燃料費高騰は、農業の問題だけではないが、各種対策も講じられているので周知する。



飼料の値上げは“モォー” いやだ！

大隅町八合原の振興策は

市長／総合計画を検討する



瀬戸口 三郎 議員

市長 八合原台地には、千戸の住宅があるが、現在火災時には中央分団を中心にして5分団で対応している。

今後、消防組織再編も視野に入れて検討していく。
問 選挙投票所の開設はできないか。
市長 行財政改革が進む中、職員も減っていく。投票所の再編を検討する時期にきている。選挙管理委員会、自治会とも協議したい。

この地区については、抜本的な総合振興計画を検討する。プロジェクトチームを今年度中に作り取り組む。

瀬戸口三郎議員

八合原台地内は、未整備の道路が多く、また排水対策も必要であるが計画はあるのか。

池田市長

2路線は、事業着手しているが、その他については、今のところ計画はなく、廃水処理に多額の経費が必要であり、今後緊急な課題である。

問 広い台地であり、消防分団詰め所等の防災施設の必要性は考えられないか。



整備前（大隅町八合原）

松山へ

志布志へ



整備後（大隅町八合原）

松山へ

志布志へ

県道の整備は

問 平成20年度は、改良費予算の大幅な減少となっているが、その理由と対策は。

市長 県の財政も厳しく予算が減少している。今後県議会や県へ強く要望していく。

問 市道の平成20年度の旧町別の予算と積算は。

市長 市道の改良費の配分は、人口割、道路延長、改良率の3つを基本とし



主要地方道 垂水・南之郷線（大隅町上馬場）

ている。

旧町割合は、大隅町37%、末吉町39%、財部町24%となる。

問 合併して人口と道路の延長を重視する予算の配分は、今後やめるべきだと思いがいか。

市長 今までは合併協議会の決定で実施してきた。今後は、自治会の要望があれば、幅員4m以上の集落道を市道認定して市で管理する。

企業誘致の取り組みは

市長／農産物加工場を目指したい



五位塚 剛 議員

五位塚剛議員

内村工業団地への企業誘致は、担当課を含めてどのような努力をしているか。

池田市長 今まで3社進出しているが、その後立地に至っていない。県の事務所や打診のあった企業への訪問活動をし、努力している。

問 農産物加工の企業誘



内村工業団地（末吉町）

致は、J・Aとも協力し進めるべきであるが、具体的な対策はあるか。

市長 曾於市で出荷される農産物の付加価値を高めるとともに、地産地消にもつながり、地元の雇用の拡大も図れるので取り組んでいきたい。

後期高齢者医療制度の問題は

問 4月からこの制度が

スタートしたが、役所に何件の苦情が寄せられたか。

市長 市民の皆さんからの相談件数は、窓口が343件、電話が385件で、内容は保険証や保険料などである。

問 相談であると言われるが、この制度に対する不満や苦情ではないか。

市長 一般的には相談だと受け止めている。

問 市長は今でもこの制度は、基本的に必要であると考えているか。

市長 少子高齢化が進展する中で、高齢者医療制度に関して広域連合で運営することで安定した財政運営がはかれると考えている。

問 この制度は例えば75歳になった場合、同月に国保と後期高齢者医療の両方から高い請求がくるなど不備な点が多すぎる。年齢で差別するこの制度は廃止すべきではないか。

市長 国の法律に基づいて進めていきたい。

グラウンドゴルフの支援策を

問 深川地区の老人会から内村工業団地の空き地を利用してのグラウンドゴルフの練習の要望があるが、対応してもいいのではないか。

市長 内村工業団地は、企業誘致の目的であるので、貸すことは考えていない。

職員の人事異動は内示を

問 現在、4月1日付けの人事異動が主であるが、職員には少なくとも1週間前に内示すべきではないか。

市長 旧大隅・財部では、内示行為があったと聞いているが、内示なしの発令で良いと考えている。

問 退職者のいる場合の事務の引き継ぎや家庭内事情、本人の能力などを考慮し、内示を検討すべ

きではないか。

市長 いろいろ悩んだ結果、今のやり方は良いと考えている。

問 今年の農業委員会の職員異動は、発令後退職された。また農業委員会の職員については権限を農業委員会にまかせるべきではないか。

市長 本人も納得してもらったので問題はなかった。また異動については、事前に農業委員会にも引き続き相談したい。



大隅弥五郎伝説の里で行われるグラウンドゴルフ

食育まちづくり推進は

市長／曾於市食育推進会議を立ち上げる



久長 登良男 議員

久長登良男議員 曾於市食育まちづくり推進基本条例が、4月1日から施行されたが、推進体制と市民への理解を深める具体的取り組みはこうなっているか。

池田市長 食育の推進体制については、本年度に曾於市食育推進基本計画を策定するため、推進会議委員の選定中である。

市民の意見を取り入れるため、各自治会への送便と市報により委員を募集したところ、10名の応募があり、総合的な地域性、男女の構成、年



地元産を取り入れた給食風景（財部小）

齢構成、食に関する経験等を基準に5名を決定した。

今後は、公募以外の推進会議委員7名を決定する。7月に第1回目の推進会議を開催し、年4回

の推進会議を曾於市食育推進基本計画の策定作業を進めていく予定である。

問 生産から消費まで見通した食育につながる作物の選定、利用方法の考えはないか。

市長 市内の道の駅や直販所等でよく売られている作物等、また学校給食にも市内産の食材を使用している。

今後は有機農法や無農薬野菜などを推進し、安

心、安全な食料の生産とその広報に努める。

問 自給率を高め、安全、安心な作物として大豆栽培の奨励は考えられないか。

市長 日本で消費される大豆の95%は輸入品であり、その内8割が製油用である。国産大豆はほとんどが食品用だが、食用の自給率は21%となっている。

消費者も国産大豆を希望しているが、供給の不安定さと価格が輸入品と比べ倍以上高いことが、市場拡大の課題となっている。水田転作物として栽培されている。生産上の問題として、排水対策や病害虫の駆除等が挙げられている。今後、栽培技術の向上に加え、気象災害に対する体制強化、調査、研究を図っていきたいと考えている。

財部やまびこ館の指定管理者は

問 財部駅やまびこ館の指定管理者の申込数は何

件か。

市長 やまびこ館の多目的ホールに入所される方を募集したところ、3件の申し込みがあった。

問 選考基準の考え方は、何を重点に考えているのか。

市長 曾於市の農林産物や特産品を販売して頂くとともに市の観光やイベント情報を発信する施設として整備したもので、入所される人は集客力と企画力に優れ安定した経



近日中にオープンする多目的ホール（やまびこ館）

営能力を有した人をお願いしたいと思っている。

問 財部地区宅地分譲の現在の状況はどうか。

市長 農業振興地域内の農用地であり、県と農振除外及び農地転用の許可について協議を進めている。

問 分譲時期の開始はいつを目指しているか。

市長 平成22年度分譲開始に向けて取り組んでいる。